

進路だより

北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園 進路支援部
令和5年11月30日(木)
第24号

◆後期の産業現場等における実習を頑張った生徒たち◆

産業現場等における実習では、一般企業と障害福祉サービス事業所とで、実習をさせていただきました。本校では、産業現場等における実習や卒業後の企業就労へ向け、仕事内容を9つの職種に分け実習を行っています。実際に体験していった仕事内容をもとに、3年の9月以降「卒業後自分がこの仕事なら働き続けることができるかな」と思える職種で実習を行い、卒業後働く上で、「支援が必要」「支援が必要でない」も考え進路決定をしていきます。

9つの職種…①製造 ②物流 ③小売り ④清掃 ⑤福祉・医療 ⑥食品・調理補助
⑦サービス ⑧事務 ⑨農業 ※進路だより5号に詳しく掲載しています

一般企業と障害福祉サービス事業所とで 実習に関しての大きな違い

①支援員さん(障害福祉的な支援があるかないか)

- ・企業では、常に実習生の傍に、実習担当の職員はいません。
- ・障害福祉サービス事業所では、基本的に実習先の職員が実習生の近くにいます。

②仕事内容

- ・企業では、実習生が一人で「できる」「できそうな」仕事のみを提供して下さる。
- ・障害福祉サービス事業所では、いろいろな仕事内容にチャレンジさせていただける。

◆後期の産業現場等における実習を頑張った生徒たち◆

事務

事務の仕事は、パソコンを使い文章の作成や表計算などが主な仕事となっており、ワードやエクセル検定3級、漢字検定3級程度の力が求められます。また、電話や窓口での対応も求められており、コミュニケーション能力をしっかりと身につけることも大切です。左の写真のように、巡回時、事務作業の実習をさせていただ



いた生徒は、印刷したものを綺麗に折り目をつけて二つ折りしたものを100枚毎にまとめ、指示された指定場所に運んでいました。事務の仕事は、数を間違えずに、丁寧に仕事をすることが大切になってきます。確実に仕事ができるようになった後は、スピードが求められます。

農業

屋外での仕事が中心となりますので、夏は暑く、冬は寒い職場となり、多少の天候不順でも屋外で仕事を行っています。炎天下でも草取りをしたり、収穫した重い作物を運んだり、体力も気力も必要です。特にビニルハウス内の作業では、室温が40℃以上にもなりますので、自分で水分補給を行うなどの体調管理がとても大切



になります。また農作物の出荷準備もしますので、丁寧に農作物を扱うことも大切になります。巡回で伺った時は、アスパラの根に養分を蓄え、春に野菜が収穫できるように、不要なアスパラの芽を摘んでいました。「立ったり座ったりの連続で、大変疲れます。」とのことでした。